

台湾赤十字会総会会长王会長からのメッセージ



台湾という国は愛にあふれたすばらしい国です。2011年3月11日の地震発生の直後から今まで、台湾の国民はずっと日本の被災者のことを、温もりの愛を以って思い、一日も早い復興を祈り続けてまいりました。台湾赤十字からの義援金は25億7777万1306台湾元で、これは台湾の子供から大人までの各界各層の全国民からの愛の贈り物です。私たち台湾赤十字と日本の赤十字は今日まで5年間、ずっと力をあわせて努力してまいりました。岩手県、福島県、宮城県に亘って公営住宅、保育園、などの復興に寄与してきましたが、中でも南三陸町の全ての医療保健福祉関係の復興に最大の金額の義援金を投入してきました。南三陸町のスタッフの努力が実ってこの度の南三陸病院の再建落成の運びとなりました。この病院の再建に注ぎこまれた台湾国民の沢山の愛情と友情は、町民の健康と幸福を永久に守り続けてまいります。国際的に有名な台湾出身の画家、池依依依女史の作品にあふれた感性、情熱、慈愛の心に感動しました。池依依依女史の作品は病院を訪れるすべての人々を癒し、夢と勇気を以って、新たな生命力、活力を与えるものと信じます。更に台湾人と日本人との間の文化芸術面の交流に大きく貢献すると確信いたします。池依依依女史対して、台湾日本両国民を代表して、最高の敬意と深甚なる感謝を表する次第です。

台灣赤十字社
長 王 清峰

愛する人に支えられ多くの困難を乗り越えていく
——素敵なご縁に感謝——

縁結び縊~守るべき人がいる

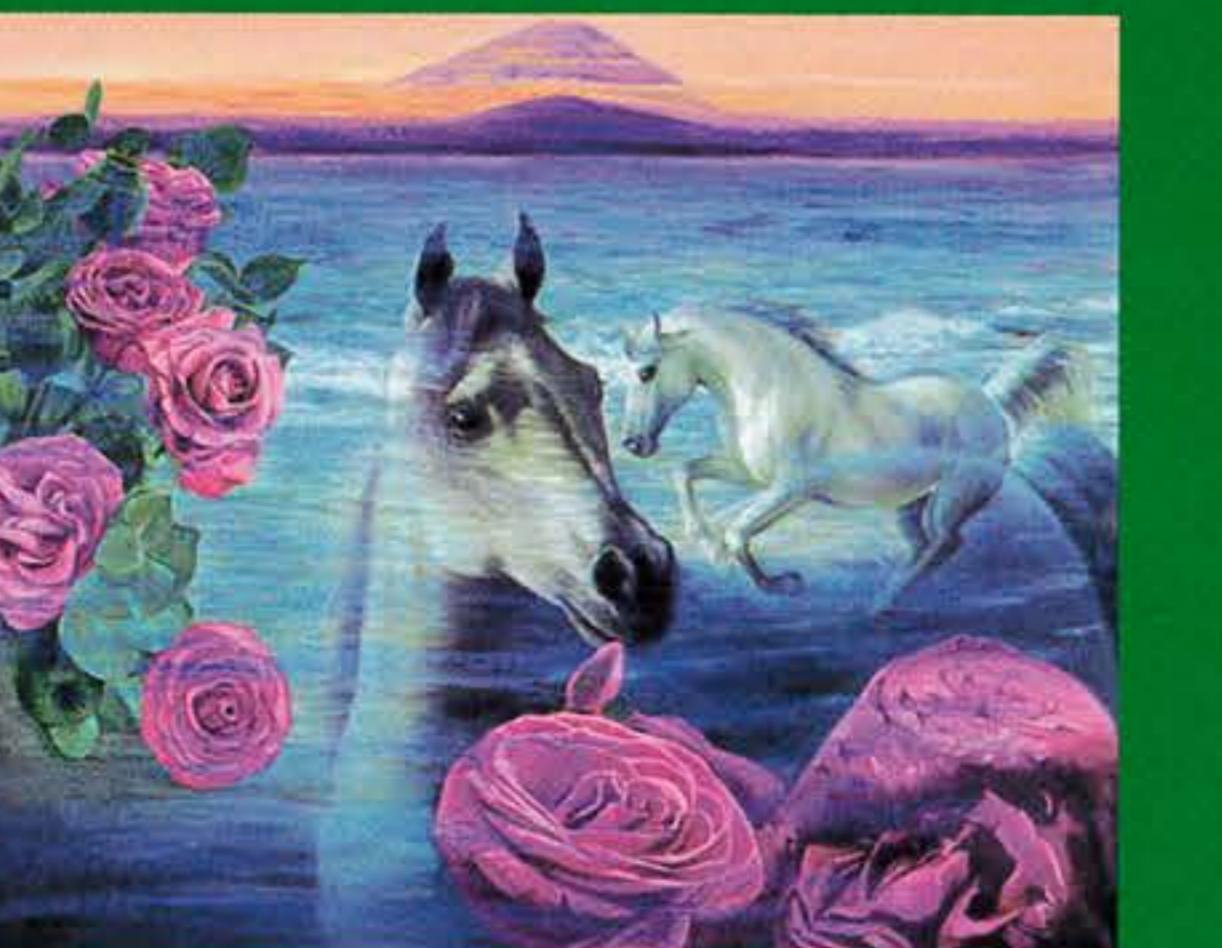
復興の足取りが加速しますように



4年前に起きた東日本大震災の一週間後、私は世界少年野球の仕事で台湾を訪れていきましたが、その間に全土をあげて取り組まれていた復興支援チャリティ活動は、今でも感動的で忘れることができません。そして大震災の惨状が風化しようとする中、いまま台湾からの義援金により、南三陸町の病院が再建されたことは感謝に堪えません。住民の皆さんのお抱り所でもある病院再建を契機に、復興の足取りが加速しますようお祈りしております。

福岡ソフトバンクホークス株式会社 取締役会長
王 貞治

南三陸病院



幸福と幸運を呼ぶ女神

日台親善協会有志（愛知和男[元国務大臣、評論家]事務所内）
〒102-0084 東京都千代田区二番町4-4-704
電話、FAX: 03-3237-3508
HP: 090-9808-8086 / 090-8805-5687
ホームページ: <http://www.ikeiii.com/>

台湾からの 義援金で 再建された 宮城県 南三陸病院



日本の真の友は台湾です

台湾の人たちは、
暖かい愛情と友情を持ち
我々の真の友人として、
平和な世界を共に築く努力を続けています。
——夢と勇気と希望を日本に与え続ける——

台湾大使の激励の言葉



南三陸病院・総合ケアセンターの落成式を迎られ、誠におめでとうございます。東日本大震災の際には、台湾の人々は日本の方々の痛みと悲しみを身にしみて感じ、積極的に支援の手を差し伸べました。一方、台湾でも、災害が起った際には、日本からご支援を頂くことがありました。双方の、この持ちつ持たれつの関係は、お互いの深い絆を表す証であります。その後、両国の赤十字社も震災復興に重要な役割を担い、それにより、本日ケアセンターが竣工の運びとなり、心からお祝い申し上げます。日本政府と国民の皆様のご努力により、東北は立派に復興するものと確信しております。台日双方の国民の心は今まで、これからも一つであります。我々としても被災地域の復興に役立てよう、引き続き支援させて頂くとともに、再建が一日も早く成し遂げられることをお祈り申し上げます。

台北駐日經濟文化代表處
代表 沈斯淳

台湾の皆さんの温かい心に感謝



東日本大震災の悪夢のような惨事から早くも4年が過ぎました。嬉しいニュースを聞きました。大震災直後から、積極的に支援の手を差し伸べて頂いている台湾の皆様からピッタリの贈り物です。宮城県南三陸町の病院を再建するために台湾紅十字社が中心となって台湾の方々から多額の協力金が送られて来ました。このような医療施設は被災者の皆さん始め、地元の人々にとって健康維持、治療のために何よりも嬉しいプレゼントになると思います。被災に遭われた東北地方の方々とは勿論、今後も日本と台湾の皆さんとの友好、親善の絆がますます強く、太くなることを願っています。

讀売巨人軍終身名誉監督
長嶋茂雄

夢に向かって、夢を叶える
昨日より今日、今日より明日—夢の力—

大橋光夫 (交流協会会長)

公益財団法人交流協会は、日台間の実務関係の維持発展を目的に設立された日本側の窓口機関です。大震災発生後、台湾の皆様から暖かな物心両面に渡る破格の支援を頂きました。日台間には特別な心の絆があり、台湾からの義援金を中心に再建された南三陸病院もその象徴の1つです。日本人だけでなく台湾の方々も共に、いつも皆様の心に寄り添っているという事実が、皆様の心の支えになればと思います。今後とも日台友好の推進という形を通じて微力ながら被災地の復興を応援していきたいと存じます。

加瀬英明 (外交評論家)

池依依依画伯は夢と希望を表現したら、画壇で第一人者だ。観る者は勇気を授かる。池依依依画伯の絵は、東北の罹災地に明るい春を、呼び寄せてくれるだろう。春風のような絵だ。春をもたらす春風は、五月のそよ風や、夏のすずかぜ涼風、秋風や、木枯しと違って、気高く、凛として吹く。東北の復興は日本国民にとって、凛とした希望であり、気高い夢である。いや、日本国民にとどまらない。東北の大震災に当たって、世界のどの国よりも大きな義援金を募って、東北の罹災地に贈った、台湾国民の夢であり、希望である。台湾こそ、日本の眞の友の国だ。池依依依画伯と、台湾国民に深く感謝したい。

コシノジュンコ (ファッションデザイナー)

地域の皆様への様々な癒しの現場となる南三陸病院が、台湾の皆様からの迅速で多大な復興支援が中心となり、このたび再建竣工しましたことを聞いて、台湾の皆様とその関係者に感謝の気持ちでいっぱいです。この病院を通して、未永い台湾との友好とその事業が益々深く広くなることを祈念いたします。

鈴木和江 (観音温泉 代表取締役社長)

この度、南三陸病院が台湾の方々の義援金を中心に再建されたことは、たいへん喜ばしい出来事です。言うまでもなく地域医療の要となる公立病院は、言ってみれば地元の方々の「心のお母さん、復興への原動力」です。30年、50年と着実に歴史を積み重ね、再建された病院とともに地元の方々が笑顔で暮らせる街づくりに邁進していただきたいと願っております。皆様の御健闘をお祈り申し上げます。

吳勤娜 (金川株式会社 代表取締役)

東日本大震災から4年が経ちました。被災地の皆様に、あらためて、心よりお見舞い申し上げます。私は台湾出身ですが、台湾と日本の間の文化交流や経済発展に微力ながらお役に立ちたいと思い、今日本で会社を経営しています。この度は台湾の赤十字社から寄せられました多額の義援金を中心に、宮城県南三陸病院が再建されることになり、心よりお祝い申し上げます。台湾と日本が力を合わせて苦難を乗り越えようとする両国の絆を強く感じました。多くの台湾の国民は、微力ながらも命続く限り、「母国を愛し、日本を愛し、台日の友好の架け橋になりたい」と強く思い続け、未だに不安で不自由な避難生活を余儀なくされている東北の皆様が希望を無くさず、一日も早く復興ができる日が、そして笑顔を取り戻せる日が来る事を心より祈っています。

愛知和男 (元国務大臣・評論家)

私は30年にわたって宮城県選出の政治家として活躍してきましたが、その間のもっとも大きなテーマは日台関係の強化でした。5年前の大災害の際、台湾の皆さんから寄せられたびっくりするほどの義援金には驚くとともに大きな感激を感じたものです。日本と台湾の絆は一層深まったと思います。南三陸町の病院の再建が落成の運びとなり、市民の皆さんにはより安心して日常生活を送れるようになったことおもいます。未だに思うように復興が進んでいないところもあり、ご苦労は続くと思いますが、それらを乗り越えて、がんばっていただきたいと祈っています。池依依依画伯の独特的創造性高い素晴らしい作品は感動と癒しを与え、魅力溢れる一流の画家として今後の活動に期待いたします。

黒田麻衣子 (株式会社東横イン 代表執行役社長)

東日本大震災では、私たちのホテルは幸い営業休止となるような致命的な被害はございませんでしたが、大なり小なりの破損、またスタッフの家族が深刻な被害に遭うなどの経験をいたしました。営業を続けるために全国から物資を運んでホテルを支えましたが、何より力になったのは被災地の皆さまの頑張りや笑顔でした。病院の再建で、被災地にまた日常が戻ってきたことを心からお慶び申し上げます。しかも、国内だけではなく諸外国、特に台湾の人々からの温かい支援を受けられたことは、被災地の皆さまを勇気づけそして希望を与えたことだと思います。今回のこととききっかけに台湾と日本の友情がさらに深まり、交流が活発になることを期待しています。

デーブ スペクター (TVプロデューサー)

東日本大震災の報道に接する度に、その悲惨さや復興に励む地元の方々のお姿に、大きな感銘を受けてまいりました。この災害復興に対して台湾から超多額の義援金をいただきましたが、改めて台湾の方々が日本に寄せられる熱い思いに大きな感銘を受けました。台湾からの義援金で南三陸病院が再建され、住民の皆さんにとって病院の存在は大きな安心をもたらすものです。今後いっそう復興に励んでいただきたいと思います。私もマスコミを通じて支援してまいります。そして、飾られた馬の絵の第一人者、鬼才、池依依依画伯独特の感性が作り出す素敵な癒しの作品の誕生を今後も期待いたします。

相澤光哉 (宮城県議会議員・宮城県日台親善協会会長)

このたび、東日本大震災で倒壊した宮城県南三陸町の旧公立志津川病院が、南三陸病院・総合ケアセンター南三陸として見事に再建施工されました。町はもとより、被災者の方々のお喜びは如何ばかりかとご同慶に堪えません。総工費の3分の1に当たる約20億円が台湾紅十字会からの義援金であり、台湾の皆様が日本に寄せて戴いたご厚情とご激励の賜物です。私たちは日台両国の友情と信頼が未来永劫に継承されるよう、深甚なる感謝と敬意を込め、この南三陸病院の美しい誕生物語を、次世代に語り伝えようではありませんか。

平本正 (株)アスカ・コーポレーション代表取締役社長)

2011年3月11日は、東日本大震災が起き、我々の想像を超える苦労の絶えない生活と精神的ダメージを被災地の方にもたらしています。しかし日本のみならず世界中から温かい支援があり、そして台湾からの義援金で南三陸の病院が再建されたことは本当に明るい希望の種です。神奈川県厚木市にあるアトリエで生まれたアーティスト池依依依さんによる絵のように、これから強く美しい輝きを放つ花を咲かせるため、街の復興のために共に前進ていきましょう。陽はまた昇る。

立花伸一 (歌手)

忘れてはいけない東日本大震災。その報道に接する度に悲惨さや復興に励む地元の方々に大きな感銘をうけています。この災害は大変に不幸な出来事でしたが台湾からの義援金で南三陸町の病院が再建される事になり住民の皆様にとって病院の存在は大きな安心となることでしょう。微力ではありますが歌を通してお手伝いさせて頂きたいと考えております。

那須正則 (食文化サロン 白金劉安 料理研究家)

近年の日本人がかつて経験したことのない空前絶後の大規模災害で日本全国が混乱している最中、『南三陸病院』再建のために、いち早く多大な義援金をお届けいただいた「多くの台湾の人々・台湾赤十字社」の方々に先ずは、心より御礼申し上げます。また、町民の皆様には再建された『南三陸病院』を復興の礎として又、地域活性させる健康管理センターとして大いに活用され、素晴らしい地域再建に取り組まれることを念じておられます。感謝



希望の輝き

解説文

私は台湾出身ですが、今は日本国籍を持つ日本人です。

2011年に起きた未曾有の悲劇に対する義援金は、世界中から寄せられましたが、そのなかでもっとも多額の義援金が、台湾から寄せられました。台湾出身者として、本当にうれしく、誇らしく思いました。

この南三陸病院の再建に当たって、立法院王金平院長、台湾赤十字王清峰会長、蕭万長副總統(当時)、亞東関係協会寥了以会長(当時)と、日本側の関係者が相談した上で、この病院が台湾からの義援金を中心に再建されたことを記念するために、私の絵がロビーに飾られることになりました。大変光栄なことと喜び、全力をあげて製作させていただきました。

私は「三つの願い」を心に抱いて、この絵を製作しました。それは「鎮魂、癒し、そして夢と希望」です。また、「夢は碎けて夢と知り、愛は破れて愛と知り、時は流れて時と知り、友は別れて友と知る 味方千人敵千人 人の出会いは何よりも宝」という、ある人の言葉を胸に抱いて、キャンバスに向かいました。

私は被災地に、何回も足を運びましたが、その都度、災害の悲惨さと、そこから立ち上がりようと、夢と希望を持って、必死に努力されている被災者の皆さん姿に、胸を搔きぶられました。私は廃墟の中でたまたま目にした一輪の花に、強く心を打たれ、美しい花の下には、隠れた根の力がある。それは愛であり、心です。無限の可能性が、人を引き付けます。時代を超えて、愛を伝えたい。愛は生命力を孕んでいます。ゆえに、愛は奇跡的で美しい、そこで私はこの絵のタイトルを、「希望の輝き」といたしました。

私は人が人を助け、心が心を救う世界を呼び寄せることを、強く願っています。私はひとりの芸術家として、皆さまのお役に立てれば、うれしく思います。この度、私がいただいた役割の重さをかみしめて、必死の思いで、絵筆を取りました。

台湾と日本の絆を永久のものとするために今後も愛され、癒される作品の創作に取り組み続けてまいりたいと思います。芸術文化活動を通じて民間外交官として架け橋となり、皆さんとの素敵なご縁を大切に邁進いたします。

イケイイイ
画家: 池依 依依

